



投資環境

2025年9月12日

一部に弱さがみられるも、A I への期待から米国株は上昇

■ A I の恩恵を受ける企業が好調

生成A I（人工知能）の急速な普及を背景に、メタやマイクロソフト、アルファベット（グーグルの親会社）など同サービスを提供・開発する企業の株価が堅調です（図表 1～3）。また、広告やクラウドサービス（インターネットを經由して提供されるソフトウェアやアプリケーション）事業が拡大していることも株価の押し上げ要因となっています。これらの開発企業以外のA I 関連企業の株価も好調です。例えば、A I 向けの最先端の半導体を製造するエヌビディアやブロードコム（ブロードコム）の株価が大きく上昇しています（図表 4、5）。また、A I 向けのクラウドサービスを手掛けるオラクルの株価は、9 日の決算発表で同事業を中心に受注残が3 カ月前の3 倍に増えたことが明らかになり、10 日の米国市場1 日で、30% 以上上昇しました（図表 6）。

図表1. メタの株価



図表2. マイクロソフトの株価



図表3. アルファベットの株価



図表4. エヌビディアの株価



図表5. ブロードコムの株価



図表6. オラクルの株価

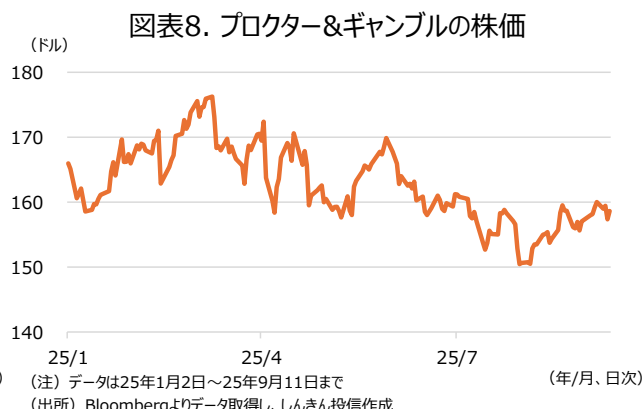
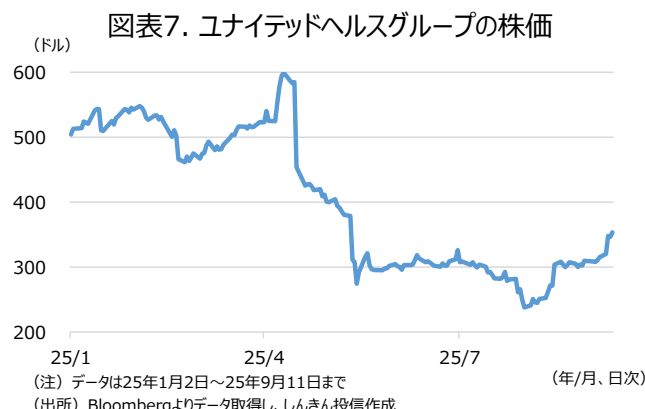




しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

■ 医薬品などは軟調

他方、医薬品や消費関連企業など、一部企業の株価は軟調に推移しています。トランプ大統領が、株価の引き下げに意欲を示していることから、ユナイテッドヘルスグループなどの医薬品関連企業は軟調な動きが続いています(図表7)。また、生活必需品を販売するプロクター&ギャンブルは、7月末の決算で同社が扱うトイレットペーパーなどの消費の弱さが示されたことから、軟調な動きが続いています(図表8)。



■ 株価指数は好調

米国株は、一部に弱さがみられますが、ナスダック総合指数は主要ハイテク企業の株価上昇が牽引し、11日の米国市場で節目となる22,000ドルを超え、最高値を更新しました(図表9)。NYダウも、ハイテク企業のほか、金融機関の株価上昇が牽引し、同日の米国市場で節目となる46,000ドルを超え、最高値を更新しました(図表10)。

ただし、足元の株価上昇は主に株価収益率(PER)の上昇によるものであるため、今後は一時的に調整局面を迎える可能性もあります(図表11,12)。雇用統計の下振れなどを受けて、最近利下げ観測が強まっていますが、17～18日に予定されている米連邦公開市場委員会(FOMC)で、今後の利下げに慎重な姿勢が示されると、株価は調整する可能性があります。

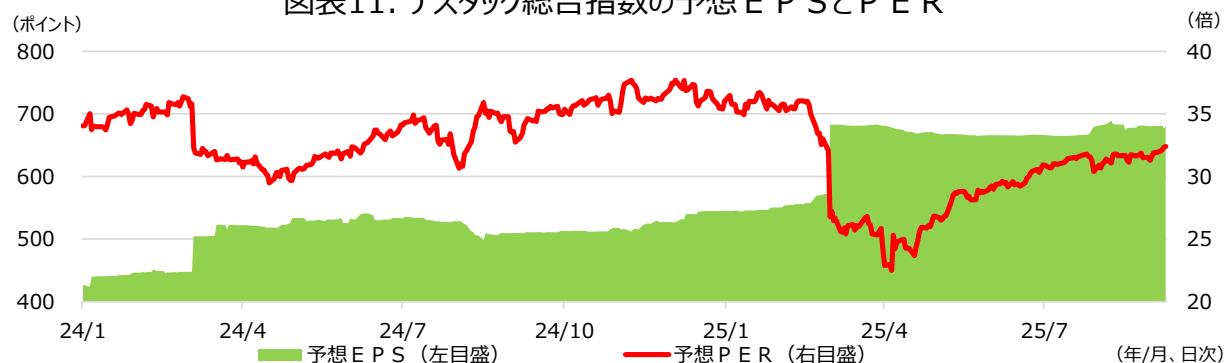
他方、10月下旬から本格化する決算発表で、主要ハイテク企業を中心に好調な決算が発表されると一株あたり利益(EPS)が押し上げられ、さらに株価が上昇する展開も想定されます。また、関税の影響が懸念される消費関連企業などで、関税の影響が限定的であることが明らかになれば、上値を追う動きが強まる展開も想定されます。





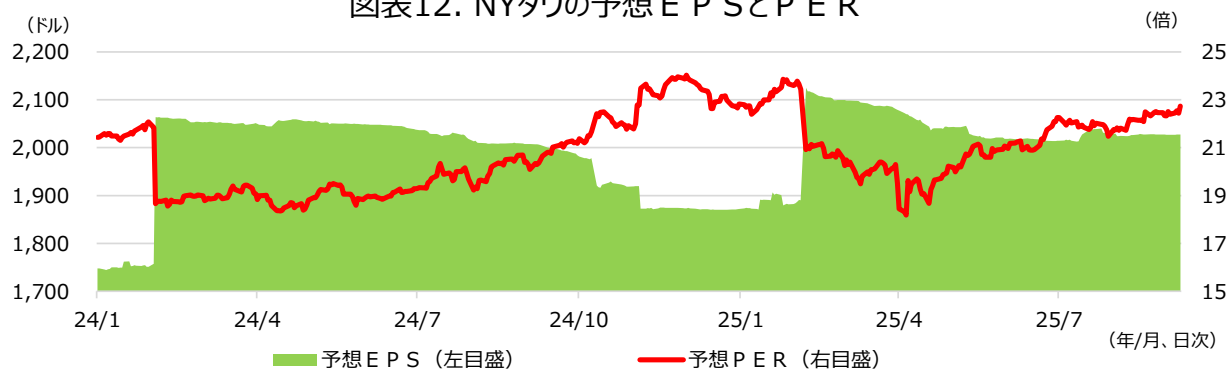
しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

図表11. ナスダック総合指数の予想EPSとPER



(注) データは、24年1月4日～25年9月11日まで
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表12. NYダウの予想EPSとPER



(注) データは、24年1月4日～25年9月11日まで
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。